

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：北海道の輪換畑を利用したイチゴリレー苗の生産技術 2．北海道に輸送する親株の輸送法			
[要約] 親株を輸送する際の苗の形状は、培土付きの小型ポットとすることで、現行の12cmポット苗で培土をふるい落とすより、苗の調製労力の削減と輸送コストの低減に結びつくばかりでなく、苗の生産にも有効である。			
キーワード（専門区分）栽培		（研究対象）野菜類 - イチゴ	
（フリーキーワード） イチゴ、ポット苗、苗生産、輸送、北海道、輪換畑			
実施機関名 （主査） 農業総合研究センター育種研究所野菜花き育種研究室 （協力機関） イチゴリレー苗プロジェクトチーム 安房農業改良普及センター、安房イチゴ苗委託組合 北海道空知南東部地区農業改良普及センター （実施期間） 2001年度～2003年度			

[目的及び背景]

北海道に送る親株はこれまで12cmポットを用いて生産され、発送時に輸送コストを下げるために、苗の培土をふるい落とししていた。しかし、輸送本数が増えると培土をふるい落とす労力がかかるだけでなく、調製に伴う苗の傷みによる子苗増殖率の低下が問題となる。そこで、輸送コストのかからない小型ポットを、そのまま送ることで、調製労力の軽減と子苗増殖率の向上をめざす。

[成果内容]

- 1．ポットの小型化は、12cmポットで培土をふるい落とす慣行苗に比べて、輸送時の調製作業が省略でき、しかも輸送費を削減できる（表1）。
- 2．培土をふるい落とさずに送る小型ポット苗は、「とちおとめ」、「女峰」とも慣行苗に比べて、採苗数が多くなる（表2、3）。
- 3．小型ポットの大きさは、「とちおとめ」では6cmでも利用が可能であるが、「女峰」では9cmが適する（表2、3、図1、2）。

[留意事項]

- 1．小型ポット苗の輸送は常温で行う。
- 2．発送直前にかん水は行わない。
- 3．炭疽病潜在感染の検定を行っていない苗を北海道へ持ち込まない。
- 4．萎黄病、疫病など他の病害についても同様に発病していないか確認する。
- 5．病害虫関係については病害虫部門の試験研究成果普及情報を参照とする。

[普及対象地域]

県下全域イチゴ生産地域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 苗の調製時間及び輸送費

ポットの 大きさ(cm)	調製時間 (分/10株)	1箱当たり 入り数(株)	株当たり 輸送費(円)
9cm	0	35	39(58)
7.5cm	0	48	29(43)
6cm	0	70	20(30)
慣行	39	30	67(100)

注：1)調製時間は培土のふるい落とし及び袋詰めに必要な時間とした。

2)慣行区は低温輸送料金とした。

3)箱は縦52cm、横37cm、高さ30cmとした。

4)()内の数字は慣行区に対する割合とした。

表2 「とちおとめ」におけるポットの大きさ別子苗の生産量(2002)

ポットの 大きさ	未発根		1～2枚		3～4枚		5～6枚		7枚以上		上物計		合計	
	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)
9.0cm	19.7	63	22.0	73	30.3	287	13.3	273	11.0	383	43.6	560	96.3	1080
7.5cm	21.2	51	18.8	67	22.7	228	15.2	327	6.7	239	37.9	555	84.6	912
6.0cm	23.2	59	17.8	70	29.4	290	15.2	342	6.6	237	44.6	632	92.2	999
慣行	20.0	33	15.0	55	16.3	207	14.3	232	5.3	190	30.6	438	70.9	717

注：1)試験は育種研究所内露地圃場で行った。

2)調査は2002年9月23日に行い、上物は3～4枚苗と5～6枚苗の合計とした。

3)ポット苗各区分は2002年3月1日～15日に採苗し、輸送用段ボール内で48時間の暗黒処理を行い、5月17日に定植した。

4)慣行区は2001年9月に12cmポットに採苗し、網室内で保管した。定植2日前に培土を全てふるい落とし、暗黒化で5～48時間処理をした後に定植した。

表3 「女峰」におけるポットの大きさ別子苗の生産量(2002)

ポットの 大きさ	未発根		1～2枚		3～4枚		5～6枚		7枚以上		上物計		合計	
	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)	株数 (株)	重量 (g)
9.0cm	44.0	60	47.3	117	49.7	307	21.3	278	5.7	145	71.0	585	168.0	907
7.5cm	32.0	48	28.1	78	41.3	275	21.1	292	4.3	121	62.4	567	126.8	815
6.0cm	20.7	24	14.9	33	37.2	185	21.0	272	2.0	57	58.2	457	95.8	570
慣行	39.3	57	23.7	70	26.3	180	14.3	213	1.3	28	40.6	393	104.9	548

注：表1と同じ。

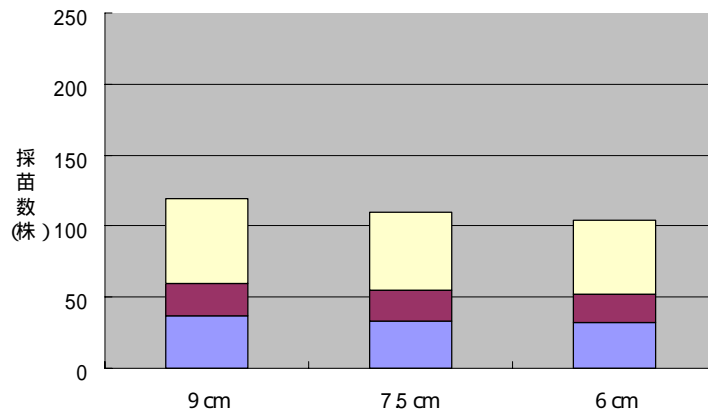


図1 「とちおとめ」5月定植におけるポットの大きさ別採苗数(2003)

■ 上物苗 ■ 下物苗 □ 未発根苗

注：試験は北海道夕張郡栗山町生産者圃場で行った。

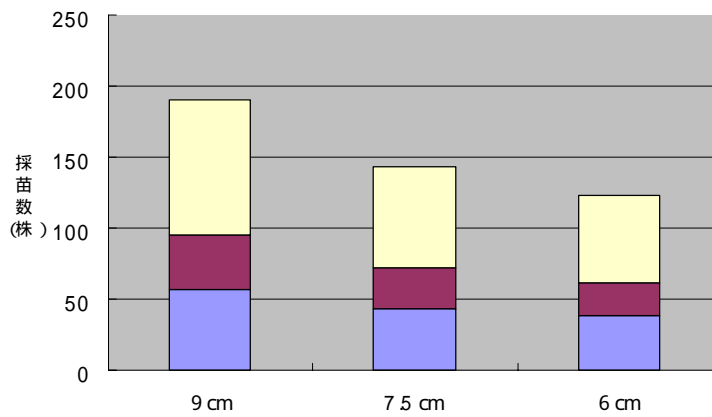


図2 「女峰」5月定植におけるポットの大きさ別採苗数(2003)

■ 上物苗 ■ 下物苗 □ 未発根苗

注：図2と同じ。

[発表及び関連文献]